

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが
育つ古河



堀恭介 くん
(令和2年6月生まれ・原町)
いっぱい食べて元気に育つてねパパとママの宝物だよ♥
(父：裕太、母：杏奈)



坂田碧仁 くん(左)
聖菜 ちゃん(右)
(令和3年6月生まれ、平成31年2月生まれ・鳥喰)
毎日かわいい笑顔をありがとう♡
(父：隆紀、母：有佐)



白木翔琉 くん
(令和3年10月生まれ・駒羽根)
皆から好かれる素直な子に育ってね。
(父：秀昭、母：めぐみ)



千葉咲陽 ちゃん
(令和3年4月生まれ・鴻巣)
待望の女の子♡かわいくて皆毎日癒やされてるよ♪
(父：崇史、母：明日奈)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください♪



わたしの夢

みんなを笑顔にさせる インテリアコーディネーター 木村紗寧さん 古河第五小学校6年生

「インテリアコーディネーター」とは、それぞれの人の好みを尊重しながら、部屋という空間をすてきにコーディネートするデザイナーです。
デザインを好きになったのは、友達に服の色合いを褒められたことがきっかけです。そこから、色やデザインを組み合わせるのが楽しくなって、洋服の絵を描いているうちに、だんだん家や部屋のデザインを考えることに興味が出てきました。
みんながワクワクしたり、喜んだりしてもらえるように、センスを磨く努力をして、この仕事に就けるように頑張っていきたいです。



キラリ 古河ビト

食卓と人生に彩りを添えて
見た目にも美しい西洋野菜を栽培
塚田仁さん(62歳)
恵子さん(59歳)
アーティチョークやコリンキーなど、普段あまり聞き慣れない野菜を育てている「ファーム塚田」(大和田)の塚田さんご夫妻。就農2年目となるお二人に、農業にかける思いを伺いました。

色鮮やかな西洋野菜を栽培している塚田さんご夫妻。仁さんは元々STEMエンジニアとして働いていましたが、恵子さんの実家である農家を継ぐため退職し、埼玉県から古河市に移住しました。2年前に本格的に農業の道に進み、なじみの薄い西洋野菜の魅力を広めるために栽培を開始。今では年間140種類以上の品種を育てています。
そのカラフルな色彩が特徴の西洋野菜は、いつもの食卓を華やかに輝かせてくれます。しかし、調理法が分からないという声も多いそうで、売り場では商品の横に簡単なレシピを掲示するなど、販売方法にも工夫を凝らしてきました。また、野菜ソムリエの資格を取得したり、SNSを活用して情報を発信したりするなど、西洋野菜の魅力を多くのの人に知ってもらおうと、日々研鑽を積んでいます。
「野菜を作って終わりではなく、野菜を通じてつながる人との出会いを大切にしたい」と語る仁さん。現在は、ふるさと納税返礼品の提供や子ども食堂へ食材の寄付を行うなど、人とのつながりの輪はさらに大きく広がっています。お二人が丹精込めて育てた野菜は、これからのたくさんの人の人生に彩りを添えてくれることでしょう。



▲青山ファーマーズマーケットに出店



▲農作業は新しい発見の連続です



▲収穫された色とりどりの西洋野菜